

令和6年度 第1回みんなで支える森林づくり諏訪地域会議 議事録

開催日時：令和6年9月20日（金） 13時30分から16時30分まで

開催場所：【現地視察】岡谷市

【会議】諏訪合同庁舎502号会議室

出席者：【構成員】（五十音順、敬称略）

片倉 正行、中村 くすみ、藤森 良隆（座長）、宮坂 佐知子

【事務局】

（諏訪地域振興局）

竹花 顕宏 地域振興局長、小島 奈美子 林務課長、青木 竜一郎 治山林道係長
山崎 昭典 林務係長、久保田 淳 普及林産係長

要 旨：

【現地視察】13時30分から15時30分

視察1：主伐・再造林

岡谷市 沢入地区



視察2：治山事業（令和3年8月・9月豪雨災害）

岡谷市 小田井沢



【会議】15時30分から16時30分

要 旨：

■会議事項（1）令和5年度森林づくり県民税活用事業の実績について

（事務局）

資料1により説明（説明者：山崎）

（片倉構成員）

地域で主伐・再造林によりゼロカーボンを進めるためには、高齢級化した森林を伐採し、植栽などにより新しい森林を造成する必要があることについて、地域住民の方々に分かりやすいアナウンスが必要だと考えられるのでお願いしたい。特に、伐採については森林のために必要だという事を地域の方に説明してほしい。

また、河畔林整備についてニセアカシアなどが繁茂しているが、溪岸などは危なくて素人では手が出せないなので、積極的に事業を行っていただきたい。

（事務局）

主伐・再造林については、令和5年度に林務部で策定した「主伐・再造林ガイドライン」において、地域住民との合意形成についても行うよう定められている。管内の林業事業体などに対してもガイドラインに沿った主伐となるよう、地域住民の方々への周知も含め県も協力しながら進めていく。

（片倉構成員）

伐採の必要性について、マスコミなどの協力をもらいながらアピールしていただきたい。

■会議事項（2）令和6年度森林づくり県民税活用事業の実施状況について

（事務局）

資料2により説明（説明者：山崎、久保田）

（藤森構成員（座長））

各事業の進捗状況はどうか。

（事務局）

説明

（藤森構成員（座長））

令和5年度の実績に対し、令和6年度の実施予定金額が増えているが、積極的に進めているという理解で良いか。

（事務局）

令和5年度は第4期森林税のスタートの年であり、第3期目の森林税からも大きく事業が変わった経過がある。その中で、県の体制づくりや市町村等の事業主体による事業申請などが多少遅れたが、今年度は2年目ということもあり、順調にスタートが切れたと考えている。また、市町村森林整備支援事業については、令和6年2月に発生した雨水害や雪害によるライフライン対策で要望量が増えている。

(中村構成員)

治山事業(山腹工事)を現地で見させてもらったが、山腹面については実生の植物により森林へ復元していくと説明があったが、どのくらいで落ち着いてくるのか。

(事務局)

可能であれば実生により復旧していきたいと考えているが、数年たっても更新してこないような状況が出てくれば、植栽等を検討する事が保安林管理上でも必要になってくる。

(宮坂構成員)

第3期森林税から第4期森林税への移行により、多くの事業や制度が変わったが、移行に伴っている歪みが出ないか気がかりである。また、伐採についてもどの木をどの位切って良いのかなど、一般の方や民間の事業者が知らない事も多いため、森林や木などに対する普及の場などを作っていただきたい。

(事務局)

地元説明会などの場で色々な選択肢を示しながら、森林GIS等の電子データなどで説明し、実際に山と一緒に歩いて提案をしている。山の事をあまり知らない方も結構いるため、机上だけではなく現場での話を大事にしており、今後も同様に普及啓発等を行っていきたい。

(片倉構成員)

一般の方には森林は切るべきではないという風潮があるが、それを何とかして穏やかに修正していかないと、主伐・再造林が思うとおりに進んでいかないと考えられるので、ぜひ啓発をお願いしたい。

(藤森構成員(座長))

短い時間ではありましたが、それぞれの立場から貴重なご意見をいただいた。第4期の森林税は2年目を迎えたわけだが、構成員のみなさまの立場で今後も検証をお願いしたい。